

競技注意事項

- 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項に**基づき**行われる。
- 競技者招集方法について
 - 招集場所は、**メイン**競技場雨天走路内に設ける。
 - 欠場者（**リレーを含む**）は、招集開始時刻 30 分前までに、招集所に示されたエントリー表に「×」をつけ欠場の意思を示すこと。無断で欠場した場合は、その後の**競技**に参加できない場合がある。
 - 招集はプログラム記載の時刻とする。時間内に招集場所で最終点呼を受けること。**点呼に不在**の場合は、欠場とみなす。
 - リレーのオーダー用紙の提出時刻は、当該種目の第 1 組招集**完了**時刻の 1 時間前までとし、**原則**オーダー提出後の変更は認めない。（**受理後**に変更する際は、医師の証明が必要となる。）
また、統一されたユニフォームが準備できない場合は、**審判・顧問ミーティングで申し出るとともに、招集時に伝える**こと。
- アスリートビブスについて
 - プログラム記載の番号を胸・背部に着用すること。また、トラック種目に出場する競技者は右腰部に腰ナンバーを着用すること。同組に同一番号がある場合は、一方の選手はレーンナンバーを採用する。（中学生は同一番号の有無にかかわらず、自校で準備したレーンナンバーを着用する。）
 - 以下の種目では、レーンナンバーを使用する。
（招集開始前に招集所で貸し出す。競技終了後、速やかに返却すること。）
胸背腰・・・1500m 以上の中長距離種目（競歩含む）
腰のみ・・・100m 決勝、800m と 4×400m R の第 4 走（予選・決勝）
- トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
- 10000m は男女同時スタートで実施する。
1500m 以上の種目は参加人数にかかわらずタイムレースとする。
- 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（ただし、天候等で変更もあり得る。）

走高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後、以下の様にあげる
男子	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.84	1.88	1.92	男子は3cmずつ 女子は2cmずつ
女子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.54	1.58	1.61	1.64	

棒高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	以後 10cm ずつあげる
男子	2.80, 3.50, 4.00	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	3.90	以後 10cm ずつあげる
女子	1.60, 2.50	1.80	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	

〈*三段跳びの踏切線は砂場より男子 12m とし、女子は 9m を基準とする。〉

フィールド種目は参加人数により計測ラインを設けることもある。その場合は競技開始前に案内する。

- 投てき用具は、主催者が準備した用具を使用することを基本とするが、準備のない用具は検定を受け、適合した用具については、主催者が借り上げて本大会で使用する事ができる。
- 本大会で 8 位までの入賞者は第 **69** 回北陸陸上競技選手権大会の出場権を得る。
表彰式は行わないが 1 位～3 位までに賞状とメダルを授与するのでロビーへ取りに来ること。
- その他

- ①スパイクのピンは、トラック競技は 9mm 以下、フィールド競技は 12mm 以下とする。
（競技場保護のため、先の尖ったピンの使用を極力控えること。）
- ②スパイク、シューズについては「競技規則 TR 5」を適用し、疑義がある場合は検査する。
- ②競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- ③5000m 競歩は、制限時間を設ける。（男子 30 分・女子 35 分を超えて次の周回に入らない）
- ④県外登録者の競技参加はオープン参加（予選のみ出場、順位に含まない）とする。リレーについては、申込メンバーの中に県外登録者が 1 名でもいればオープン参加扱いとする。
- ⑤競技**エリア内**に**商品名のついた物品（衣類を含む）**を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟「競技会における広告物及び展示物に関する規定」に従うこと。
- ⑥**助力**について「**競技規則 TR 6**」を熟知し、**競技エリア内での通信機器の取り扱いやコーチングや助言の受け方に注意すること**。（警告・失格の対象となる。）